

ルーテル愛児幼稚園 園児 **みそ造り体験「楽しい！」**



機械のハンドルを回してみその材料をミンチにする様子

秋田市新屋のルーテル愛児幼稚園（佐藤聡太郎園長）の年長園児 35 人が 20 日、同園でみそ造りを体験した。県総合食品研究センターの職員から手ほどきを受けながら、約 6 キロのみそを造った。園の調理室で寝かせ、9 月下旬に完成する見込み。



みそを丸めて容器に投げ入れる園児

下準備を済ませた大豆、塩とこうじを合わせて少量ずつ機械に投入。園児はハンドルを 1 人 3、4 回ずつ力いっぱい回して材料をミンチにし、他の園児は「ファイト」と声援を送った。みそが機械から出てくると目を輝かせた。

続いて、みそを丸めてみそ玉を作り、

空気を抜くため勢いよく容器に投げ入れた。

阿部隼仁ちゃん（5）は「みそを丸めて投げるのが楽しかった。おみそ汁にして食べたい」と話した。

完成したみそは、秋に行われる行事でみそ汁などにして、園児や地域住民に提供する。園では食育の一環として 2019 年からみそ造りを続けている。（出澤陽立）

（令和 6 年 6 月 25 日（火）秋田魁新聞より一部抜粋）